



# 熱中症 管理セミナー

令和6年4月16日  
さいたま労働基準監督署  
安全衛生課

1 → 2  
3 → 4  
スライドの順番です

厚生労働省

埼玉労働局 都道府県ごと

さいたま労働基準監督署  
県内 8署

**方面（監督課）**  
監督指導、申告・相談の受付、  
司法警察事務 など

**安全衛生課**  
機械の設置等に関する届出審査、  
機械の検査、安全衛生指導 など

**労災課**  
労災補償事務、  
労働保険の適用・徴収 など

令和5年4月から、労働基準監督署の  
職員の作業服が新しくなりました



夏用



冬用

# 職場における 熱中症の発生状況

## 全国の状況

お手元の資料です

令和5年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況  
(令和6年1月11日時点速報値)

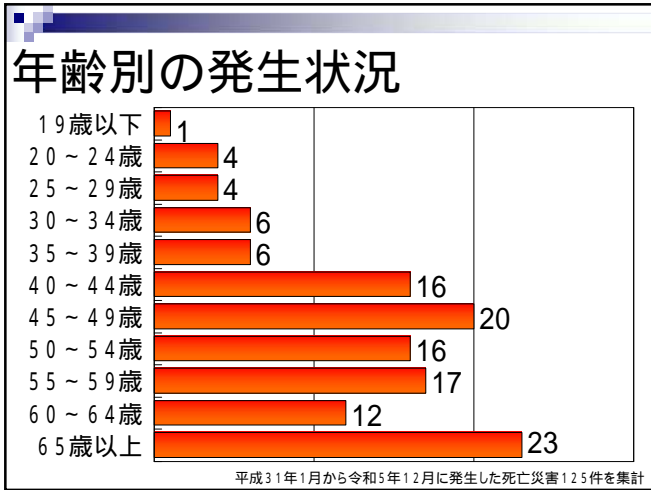
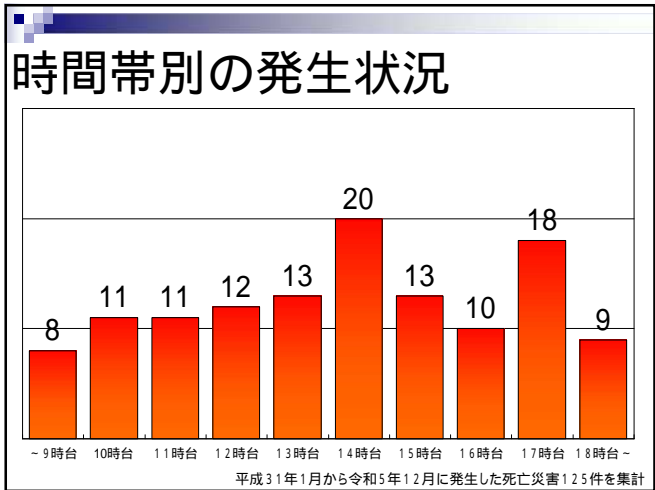
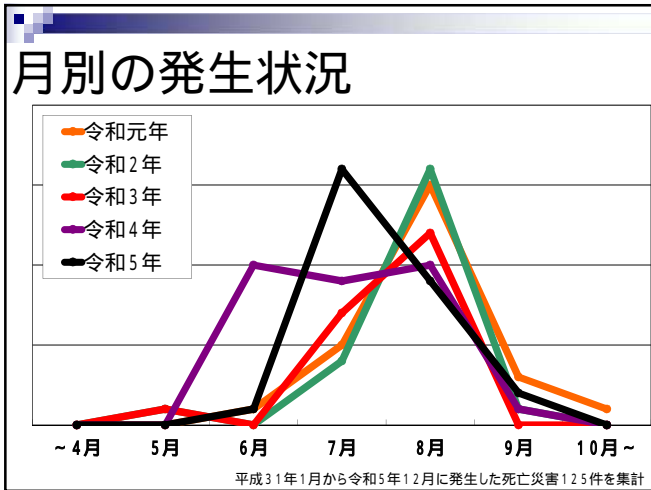
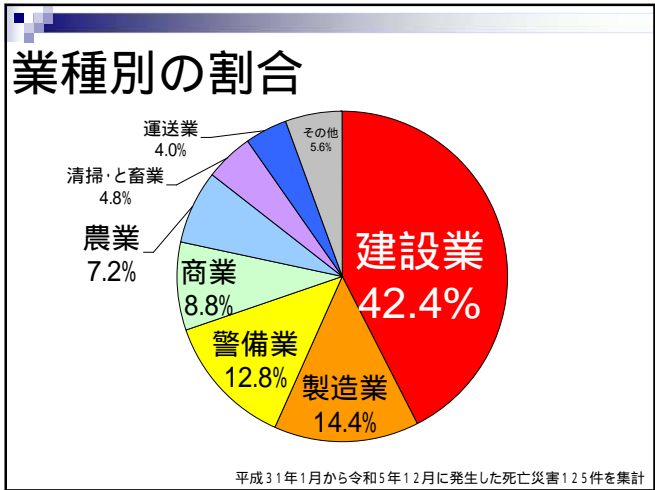
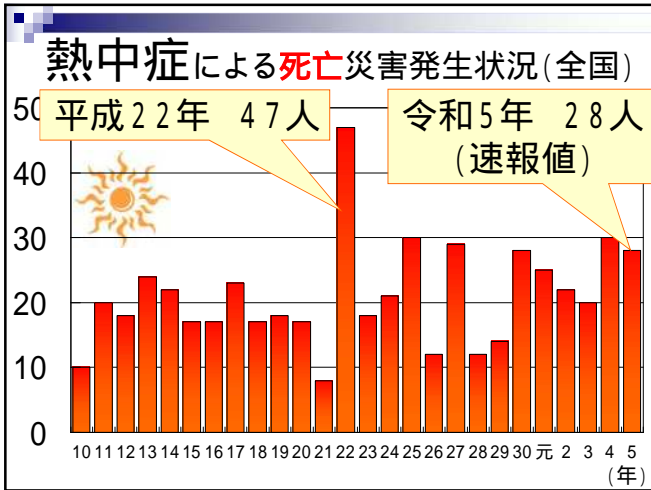
1 職場における熱中症による死者数の状況（2014～2023年）  
職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の業務上疾病者  
合わせて「死傷者数」という。令和5年（2023年）に1,049  
人、うち死亡者数は28人となっている。

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
死者数	423	463	482	544	1,178	823	950	561	827	1,049
（うち）	(12)	(29)	(12)	(14)	(28)	(26)	(22)	(20)	(30)	(28)

※2023年の件数は2024年1月11日時点の速報値である。  
※（ ）内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数である。

職場における熱中症による死傷者数の推移

令和5年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況 (令和6年1月11日時点速報値)



令和5年の死亡災害全体の概要(1/2)

総数は28件で、被災者はすべて男性であった。

発症時・緊急時の措置の確認・周知していたことを確認できなかった事例が25件あった。

暑さ指数(WBGT)の把握を確認できなかった事例が24件あった。

## 令和5年の死亡災害全体の概要(2/2)

熱中症予防のための労働衛生教育の実施を確認できなかった事例が18件あった。

糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している事が明らかな事例は10件あった。

## 熱中症による死亡災害事例

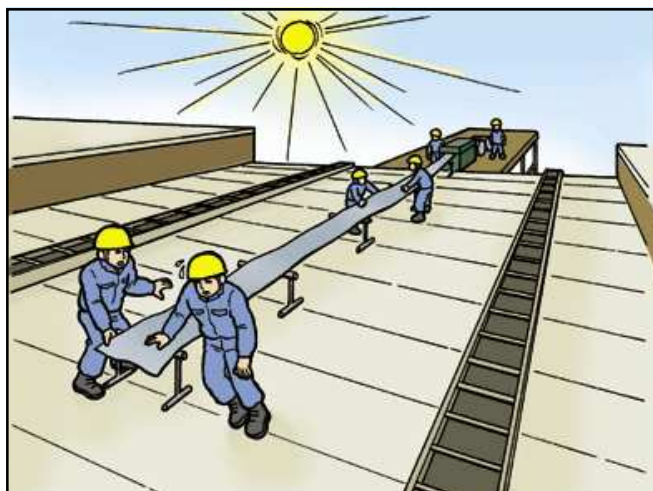
### 5月中旬に埼玉県内で発生した熱中症による死亡災害事例

工場建屋の屋根上で、鋼板製の屋根葺き作業を行っていた被災者が熱中症で倒れ、8日後に死亡。

14時半頃、足元がふらついていた被災者に、監督者が休憩するよう指示、30分後に様子を見に行ったところ、声をかけても反応がなかったため、医療機関に搬送。

### 5月中旬に埼玉県内で発生した熱中症による死亡災害事例

被災者は、建設労働の経験は浅く、災害発生当日が作業初日であった。



### 5月中旬に埼玉県内で発生した熱中症による死亡災害事例

災害発生当日の当該地域の気温等は、

最高気温	28.3
平均気温	20.1
最高相対湿度	99.8%
平均湿度	72.2%

であり、晴天であった。

災害発生時の屋根上の気温は、34～35 と推定。

## お手元の資料の8ページ以降が 死亡災害の発生事例です

5 2023年の熱中症による死亡災害の事例

### 【死亡災害全体の概要】

- ・総数は28件で、被災者はすべて男性であった。
- ・発症時・緊急時の措置の確認・周知していたことを確認できなかった事例が25件あった。
- ・暑さ指数(WBGT)の把握を確認できなかった事例が24件あった。
- ・熱中症予防のための労働衛生教育の実施を確認できなかった事例が18件あった。
- ・糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している事が明らかな事例は10件あった。

### 【事例の詳細】

番号	月	業種	年代	気温 (℃)	暑さ指数 (WBGT) (℃)	事例の概要
1	6	警備	80	27.0℃	26.3℃	被災者は屋外の工事現場で警備業務に従事

# WBGT値 (暑さ指数)

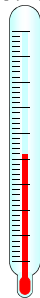
WBGT値(暑さ指数)とは  
**湿球黒球温度**

W e t - **湿球**  
B u l b **黒球**  
G l o b e  
T e m p e r a t u r e

WBGT値(暑さ指数)とは  
**乾球温度**  
(dry - bulb temperature)

周囲の通風を妨げない状態で、輻射(放射)熱による影響を受けないように球部を囲って測定された乾球温度計が示す値

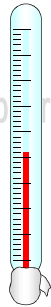
WBGT値(暑さ指数)とは  
**乾球温度**  
(dry - bulb temperature)



WBGT値(暑さ指数)とは  
**湿球温度**  
(wet - bulb temperature)

強制通風することなく、輻射(放射)熱を防ぐための球部の囲いをしない環境に置かれた濡れガーゼで覆った温度計が示す値

W B G T 値 (暑さ指数) とは  
**湿球温度**  
(wet - bulb temperature)

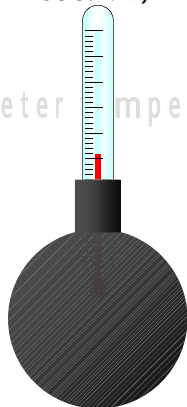


W B G T 値 (暑さ指数) とは  
**黒球温度**  
(globe thermometer temperature)

次の特性を持つ中空黒球の中心に  
位置する温度計の示す温度

直径が150mmであること  
平均放射率が0.95 (つや消し  
黒色球) であること  
厚さが出来るだけ薄いこと

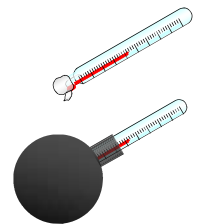
W B G T 値 (暑さ指数) とは  
**黒球温度**  
(globe thermometer temperature)



W B G T 値 (暑さ指数) とは  
**屋内の場合**

W B G T =

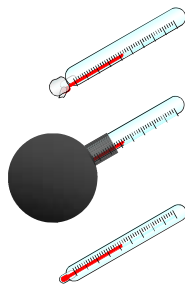
$$0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度}$$



W B G T 値 (暑さ指数) とは  
**屋外の場合**

W B G T =

$$0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$$



W B G T 値 (暑さ指数) とは  
**W B G T 測定装置**





# 熱中症の 応急手当

厚生労働省  
HOME | 職場で安全を守る | 暑さ対策について | 経済産業省 | 消費者庁 | 労働部 | eLearning | シンク

字ぼう!備えよう!職場の仲間を守ろう!  
**職場における熱中症予防情報**

中小企業の事業主、安全・衛生管理担当者、現場作業員向け  
働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

職場における熱中症予防に用いる機器の適正な使用方法等図別事業

新着情報

- 2024.2.27 熱中症「応急手当」カード(携帯用)の英語版をアップしました。
- 2024.2.27 熱中症「応急手当」カード(携帯用)のベトナム語版をアップしました。
- 2024.2.27 熱中症「応急手当」カード(携帯用)の英語版をアップしました。
- 2023.9.19 熱中症「応急手当」カード(携帯用)の英語版をアップしました。
- 2023.9.18 熱中症「応急手当」カード(携帯用)の英語版をアップしました。
- 2023.3.03 熱中症「応急手当」カード(携帯用)の英語版をアップしました。

動画で学ぶ  
職場における熱中症の予防  
対策について学ぶことができます。

「応急手当」カード(携帯用)ダウンロード

熱中症の応急手当  
いつもと違うと思ったら、すぐに119

救急要請まで 作業員を助かせ  
水をあげ! 暑さ対策用品

前日のチェック 仕事前のチェック  
作業員は熱中症に気づかずに作業しているか  
作業員は熱中症の症状を訴えているか  
作業員は熱中症の症状を訴えているか  
作業員は熱中症の症状を訴えているか

《両面印刷》PDFダウンロードはこちら

《片面印刷》PDFダウンロードはこちら

英語版 First aid for heat illness  
If someone is displaying unusual symptoms, call 119 immediately.  
While waiting for the ambulance to arrive, remove heavier clothing and spray them with cold water.

ベトナム語版 Biện pháp sơ cứu say nắng  
Khi cảm thấy có sự bất thường, hãy gọi ngay số điện thoại 119.  
Chờ đội xe cấp cứu đến, hãy cởi quần áo nặng và xịt nước lạnh lên mặt thân.

協力をお願い

爪押してセルフチェック  
尿の色でセルフチェック

熱中症の予備軍『離れ脱水症』の見つけ方  
爪押してセルフチェック

熱中症の予備軍『離れ脱水症』の見つけ方  
尿の色でセルフチェック

PDFダウンロードはこちら

PDFダウンロードはこちら

スライドショー動画

詳細なスライドはこちら

詳細なスライドはこちら

中小企業の事業主、安全・衛生管理担当者、現場作業員向け  
働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

ホーム > 働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

働く人の今すぐ使える熱中症ガイド

目次

- 01 熱中症から命を守る P4
- 02 危険な状況と対策 P12
- 03 予防法 P30
- 04 取組例 P47
- 05 熱中症の基礎知識 P56
- 06 事業主、安全・衛生管理担当者の方へ P63
- 07 まとめ P87

## 目次

- 01 熱中症から命を守る** P4
  1. 職場で熱中症になった人
  2. いつもと違うと思ったら、熱中症を疑え
  3. 熱中症の症状と重症度分類
  4. 現場で作業員が倒れたときの「命を救う行動」と「あやまった行動」
  5. 熱中症「応急手当」カード(携帯用)
- 02 危険な状況と対策** P12
  1. 建設現場(屋外)構
  2. 製造現場(屋内)構
  3. その他現場 編
- 03 予防法** P30
  1. 3つの注意点(前日/仕事前/仕事時)
  2. 暑熱指数(暑さに慣れる)
  3. 休憩時間について
  4. 予防対策グッズの使用
- 04 取組例** P47
- 05 熱中症の基礎知識** P56
  1. 熱中症の原因と発生しやすい現場の条件
  2. 暑さ指数(WBGT)
  3. 高齢者や持病がある作業員への配慮
  4. STOP! 熱中症クールワークキャンペーン
  5. 多言語リーフレット
  6. もっと詳しく知りたい方へ
- 06 事業主、安全・衛生管理担当者の方へ** P63
  1. 関係法令・関係指針・要綱
  2. 補助金・助成金
  3. 講習用スライド/スライドショー動画
- 07 まとめ** P87
  1. 熱中症の見分け方と応急手当
  2. 予防には「暑熱慣れ」
  3. 水分補給と休憩
  4. 注意点

### あれっ、何かおかしい



手足がつる



吐き気



何となく体調が悪い



立ちくらみ・めまい



汗のかき方がおかしい  
汗が止まらない/汗がでない



すぐに疲れる

**解説** 「手足がつる」「立ちくらみ・めまい」「吐き気」「汗が止まらない、逆に汗が出ない」といったことがあれば、熱中症の可能性がります。また「何となく体調が悪い」「すぐに疲れる」といった症状がみられることもあります。

### あの人、ちょっとヘン



イライラしている



呼びかけに応じない



フラフラしている



ボーッとしている

**解説** 他人から見てわかる症状もあります。周囲に「イライラしている」「フラフラしている」「呼びかけに反応しない」「ボーッとしている」このような人は、熱中症の可能性がります。

### 専門知識がないと、熱中症か判断できない





直ちに作業中止

▶ 119番

**解説** 熱中症が疑われる症状が見られたら、すぐに作業を中止して、119番してください。専門知識がないと、熱中症が判断できないからです。救急隊員なら応急処置ができます。病院に行けば、救急医が診察してくれるので安心です。

### 4. 「命を救う行動」 現場で作業員が倒れたときの対応

▶ 作業員の様子がおかしいと思ったら...

①



すぐに**119番**

②



救急車が到着するまで  
作業着を脱がせ  
水をかけ全身を **急速冷却** 次員参照

③ 救急搬送  
▼ 生還

**すぐに119番▶水をかけ、全身を『急速冷却』!**

### ➡「水かけ」で急速冷却 (アスリートの世界では一般的)



© JSPO (公益財団法人日本スポーツ協会)

【スポーツ活動中の熱中症予防】ch.5 身体冷却法 -応急処置編- 「水道水散布法」2:46~参照  
<https://www.youtube.com/watch?v=g2FzArhb48&t=6s>



### 「あやまった行動」 現場で作業員が倒れたときの対応

▶ 作業員の様子がおかしいと思ったが...

①



意識状態は悪かったが平熱だったので大丈夫だと判断

②



クーラーをかけた車内で、ひとりで休ませたしばらくして様子を見に行くと意識がなく、高熱になっていた

③ 救急搬送  
▼ 心肺停止

**大丈夫そうだったので「ひとり」で休ませた**

# STOP！熱中症 クールワークキャンペーン

お手元のリーフレットです

## STOP！熱中症 クールワークキャンペーン

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約800人が4日以上仕事を休んでいます。

準備 4月 5月 6月 7月 8月 9月  
キャンペーン期間  
重点取組

準備期間（4月）にすべきこと  
きちんと実施されているかを確認し、チェックしましょう



## STOP！熱中症 クールワークキャンペーン

4月 5月 6月 7月 8月 9月

準備期間 重点取組期間


お手元のリーフレットの裏面です

### キャンペーン期間（5月～9月）にすべきこと

STEP 1 暑さ指数の把握と評価  
 JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握  
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効

STEP 2 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

<input type="checkbox"/> 暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施
<input type="checkbox"/> 休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置
<input type="checkbox"/> 服装	準備期間に検討した服装を着用
<input type="checkbox"/> 作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止
<input type="checkbox"/> 暑熱順化への対応	熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整 ※新規入職者や休み明け労働者は別途調整することに注意



# 労働安全衛生関係の 一部の事務の 電子申請義務化

- ## 以下の事務の電子申請が原則義務化
- 定期健康診断結果報告書
  - 有害な業務に係る歯科健康診断結果報告書
  - 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書
  - 有機溶剤等健康診断結果報告書
  - じん肺健康管理実施状況報告
  - 総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告
  - 労働者死傷病報告



# 労働者死傷病報告の報告事項等の変更

休業4日未満の報告について  
休業4日以上との報告と同じ報告事項に

# 労働者死傷病報告の報告事項の案

(令和5年5月16日)第154回労働政策審議会安全衛生分科会の資料の一部

労働者死傷病報告 報告事項

入力画面のイメージ

修正内容

- (1) 電子申請の運用義務化
- (2) 報告内容の改正
  - ア 事業の種類欄の改正  
事業の種類を日本標準産業分類の分類コード4桁で入力できるように修正
  - イ 職種欄の改正  
職種を日本標準職業分類の分類コード3桁で入力できるように修正
  - ウ 災害発生状況及び原因欄のテキスト欄  
災害発生状況及び原因の欄が以下の①～⑤に沿って入力できるように修正
    - ①どのような場所で  
どのような作業をしているときに  
どのような物又は環境に  
(化学物質による被災の場合、  
化学物質の名称を記載すること)
    - ②どのような不安全な又は有害な状態が  
あった(保護具を着用していなかった等  
を記載すること)
    - ③どのような災害が発生したか
    - ④どのような災害が発生したか、発生、被災には含まれていなかった『労働者被害者』、『被災者の関係者』や『関係者』など、災害データの異なる活用に応じて必要な報告事項に
    - ⑤どのような災害が発生したか

入力画面のイメージ

「事業の種類」欄を日本標準産業分類の分類コード4桁で入力できるように修正

「職種」欄を日本標準職業分類の分類コード3桁で入力できるように修正

「災害発生状況及び原因」欄を以下の～に沿って入力できるように修正

どのような場所で  
どのような作業をしているときに  
どのような物又は環境に  
(化学物質による被災の場合、  
化学物質の名称を記載すること)  
どのような不安全な又は有害な状態が  
あった(保護具を着用していなかった等  
を記載すること)  
どのような災害が発生したか

# 施行期日 令和7年1月1日

当分の間は、書面による報告が可能です。

ただし、**労働者死傷病報告**は報告事項が変更されるため、従来の報告様式の第23号及び第24号は**使用できなくなります**。

労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス

帳票作成メニューへ (電子申請を利用しない方はこちら)

帳票作成メニューへ (電子申請を利用する方はこちら)

労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービスとは?

「e-Gov電子申請」のほか「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」から電子申請が可能に

帳票作成メニューへ  
(電子申請を利用しない方はこちら)

帳票作成メニューへ  
(電子申請を利用する方はこちら)

労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービスとは?

# 転倒等リスク評価セルフチェック票

## お手元の資料です

転倒等リスク評価セルフチェック票

I 身体機能計測結果

① 2ステップテスト (歩行能力・筋力)  
あなたの結果は  cm /  cm (身長) =   
下の評価表に当てはめると → 評価

評価	1	2	3	4	5
結果 / 身長	~1.24	1.25 ~1.30	1.31 ~1.46	1.47 ~1.65	1.66~

② 座位ステップテスト (敏捷性)  
あなたの結果は  回 / 20秒  
下の評価表に当てはめると → 評価

評価	1	2	3	4	5
(回)	~24	25 ~28	29 ~43	44 ~47	48~

③ ファンクショナルリーチ (動的バランス)  
あなたの結果は  cm  
下の評価表に当てはめると → 評価

厚生労働省 長崎労働局

転倒等リスク評価セルフチェック票

事業者の皆様へ!

- ★ マニュアル【簡易版】、【全体版】 **必ずはこちらをチェック** **注意**
- ★ 転倒等リスク評価セルフチェック票
- ★ 【集団分析用】転倒等リスク評価セルフチェック票

転倒等リスク評価セルフチェック票

※赤枠の箇所のみ入力ください。 名前  年齢  性別

I 身体機能計測結果

① 【歩行能力・筋力】 ★ 2ステップテスト ★ ~歩行能力・筋力を測定~  
スタートラインから最大2歩目のつま先までの距離をcm単位で測定します。(mmは四捨五入)  
2回測定し、長いほうの測定距離を記録で載ります。(赤枠には測定距離のみ入力ください。自動計算されます。)

2ステップテスト1回目 ⇒  CM

2ステップテスト2回目 ⇒  CM

評価

② 【敏捷性】 ★ 座位ステップテスト ★ ~素早く足を動かせるか~  
背もたれがある回転しない椅子に座り、足元に30cm幅のラインを引く。その内側を足置き、  
「ラインの外側⇒内側」が1回とカウントして20秒間で何回踏めるかを測定します。

座位ステップテスト ⇒  回/20秒

評価

### III レーダーチャート

① 身体機能計測 (青線) ② 身体機能に対する意識 (赤線)

① 歩行能力・筋力

② 静的バランス (閉眼)

③ 敏捷性

④ 動的バランス

【パターン3】  
あなたの身体機能は同じくらいで、意識は高めです。そのため、転倒等リスクが低く、自分でできる作業も多いため、現在は良い状態です。身体能力が急激に低下する恐れがありますので、日頃から、引き続き体力の維持に努めてください。

【チェック項目】  
1 身体機能計測 (各項目) の大きさをチェック

令和5年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況  
(令和6年1月11日時点速報値)

1 職場における熱中症による死傷者数の状況 (2014～2023年)

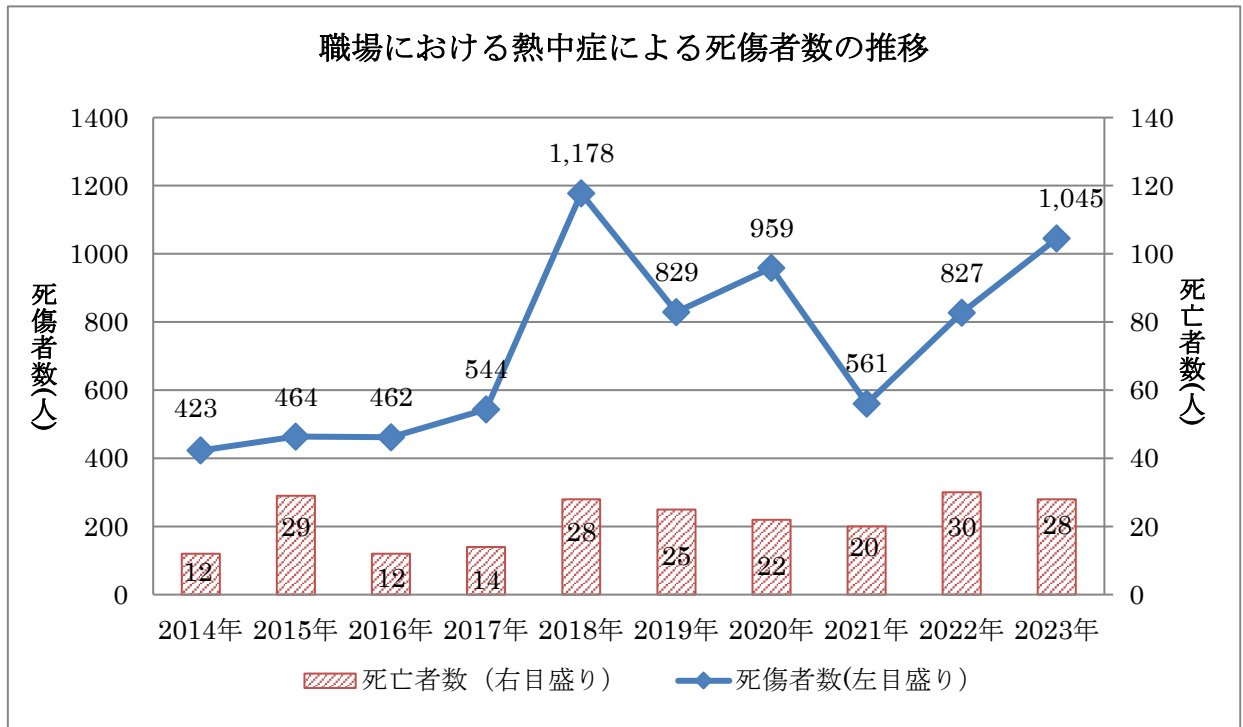
職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数(以下合わせて「死傷者数」という。)は、令和5年(2023年)に1,045人となった。うち死亡者数は28人となっている。

職場における熱中症による死傷者数の推移 (2014年～2023年) (人)

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
423 (12)	464 (29)	462 (12)	544 (14)	1,178 (28)	829 (25)	959 (22)	561 (20)	827 (30)	1,045 (28)

※2023年の件数は2024年1月11日時点の速報値である。

※( )内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数である。



## 2 業種別発生状況（2019～2023年）

2019年以降の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業、次いで製造業で多く発生していた。

2023年の死亡災害については、建設業において11件と最も多く発生していた。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（2019～2023年）

（人）

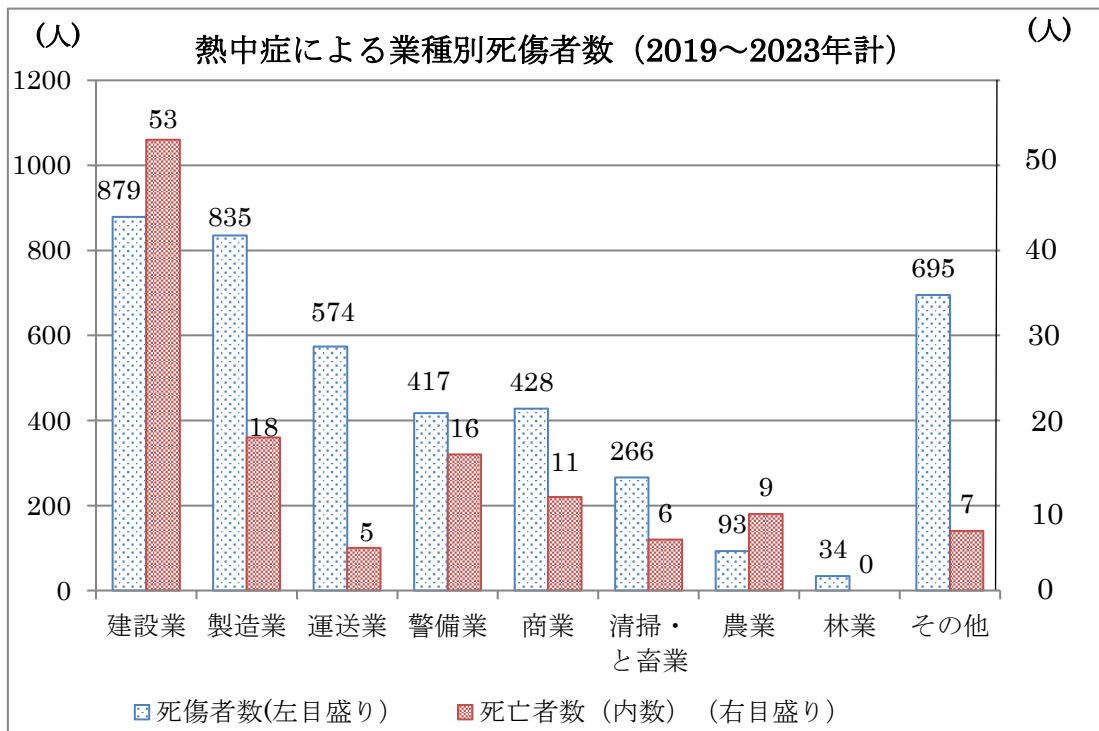
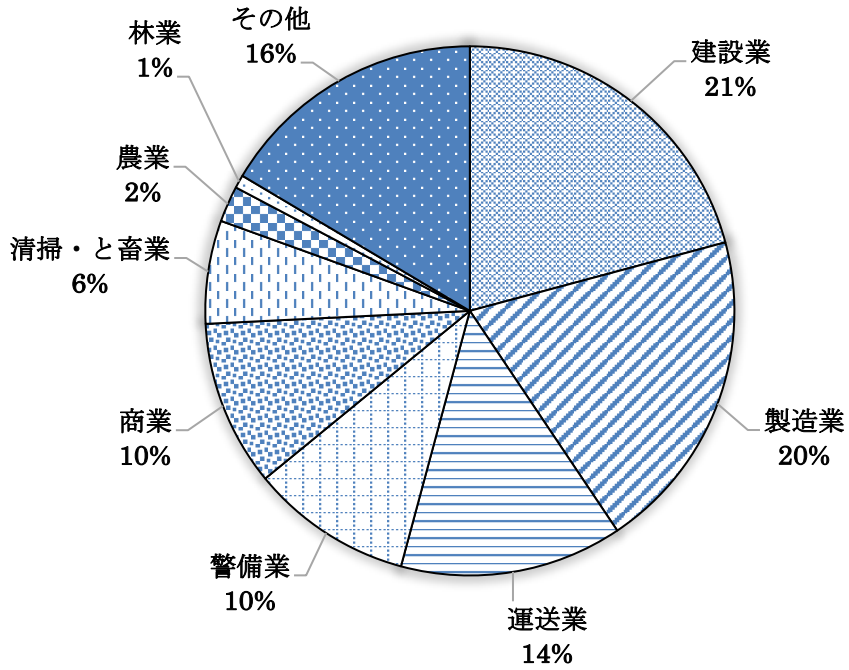
業種	建設業	製造業	運送業	警備業	商業	清掃・ と畜業	農業	林業	その他	計
2019年	153 (10)	184 (4)	110 (2)	73 (4)	87 (1)	61 (0)	19 (0)	7 (0)	135 (4)	829 (25)
2020年	215 (7)	199 (6)	137 (0)	82 (1)	78 (2)	61 (4)	14 (1)	7 (0)	166 (1)	959 (22)
2021年	130 (11)	87 (2)	61 (1)	68 (1)	63 (3)	31 (0)	14 (2)	7 (0)	100 (0)	561 (20)
2022年	179 (14)	145 (2)	129 (1)	91 (6)	82 (2)	58 (2)	21 (2)	6 (0)	116 (1)	827 (30)
2023年	202 (11)	220 (4)	137 (1)	103 (4)	118 (3)	55 (0)	25 (4)	7 (0)	178 (1)	1,045 (28)
計	879 (53)	835 (18)	574 (5)	417 (16)	428 (11)	266 (6)	93 (9)	34 (0)	695 (7)	4,221 (125)

※ 2023年の件数は2024年1月11日時点の速報値である。

※ （ ）内の数値は死亡者数で内数である。



熱中症による業種別死傷者数の割合（2019年～2023年計）



### 3 月・時間帯別発生状況（2019～2023年）

#### （1）月別発生状況

2019年以降の月別の熱中症の死傷者数をみると、全体の約8割が7月及び8月に発生していた。

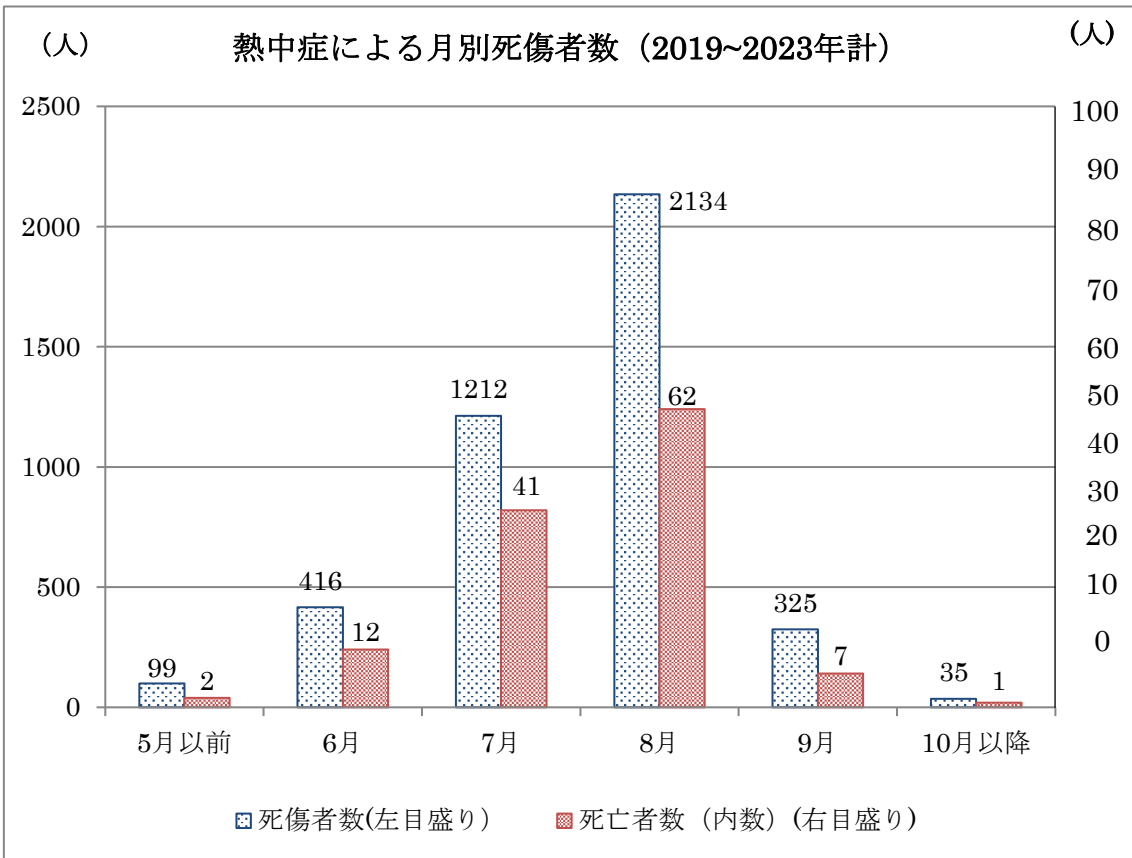
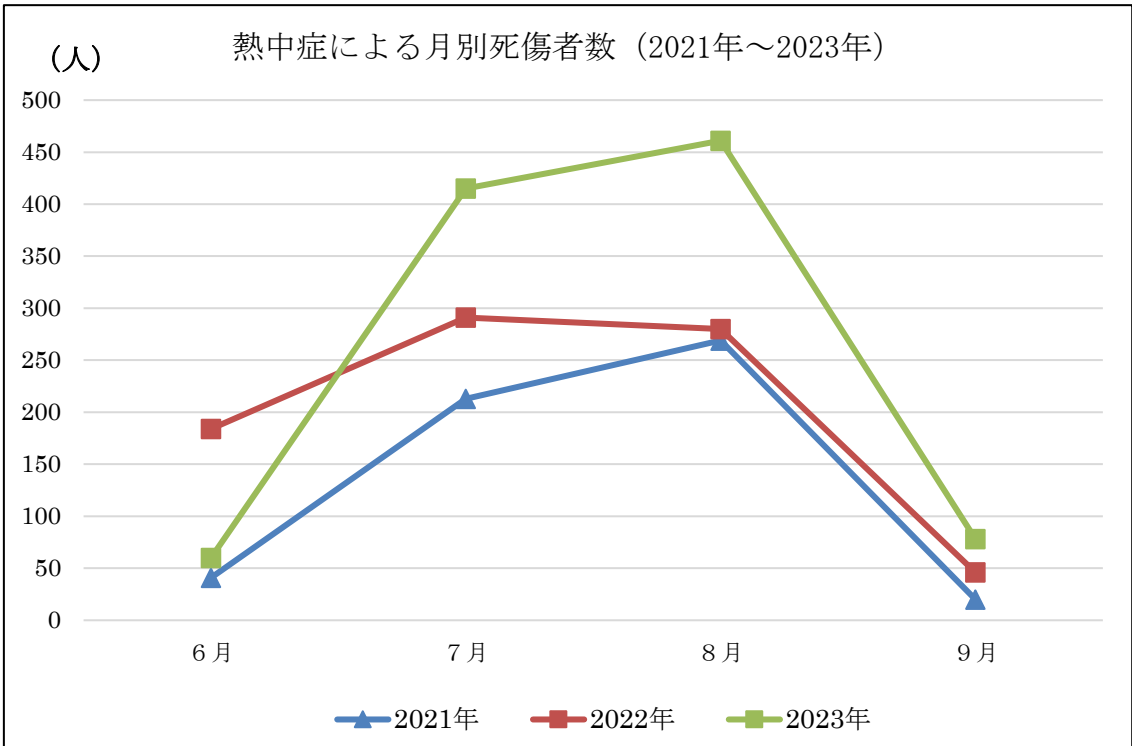
熱中症による死傷者数の月別の状況（2019～2023年）（人）

	4月 以前	5月	6月	7月	8月	9月	10月 以降	計
2019年	1 (0)	29 (0)	45 (1)	177 (5)	472 (15)	97 (3)	8 (1)	829 (25)
2020年	2 (0)	16 (1)	85 (0)	115 (4)	651 (16)	84 (1)	6 (0)	959 (22)
2021年	4 (0)	7 (1)	41 (0)	213 (7)	269 (12)	20 (0)	7 (0)	561 (20)
2022年	2 (0)	14 (0)	184 (10)	291 (9)	280 (10)	46 (1)	10 (0)	827 (30)
2023年	4 (0)	20 (0)	61 (1)	416 (16)	462 (9)	78 (2)	4 (0)	1,045 (28)
計	13 (0)	86 (2)	416 (12)	1,212 (41)	2,134 (62)	325 (7)	35 (1)	4,221 (125)

※ 2023年の件数は2024年1月11日時点の速報値である。

※ 4月以前は1月から4月まで、10月以降は10月から12月までを指す。

※ ( )内の数値は死亡者数で内数である。



(2) 時間帯別発生状況 (2019~2023年)

2019年以降の時間帯別の熱中症の死傷者数をみると、15時台が最も多く、次いで11時台が多くなっていた。なお、日中の作業終了後に帰宅してから体調が悪化して病院へ搬送されるケースも散見された。

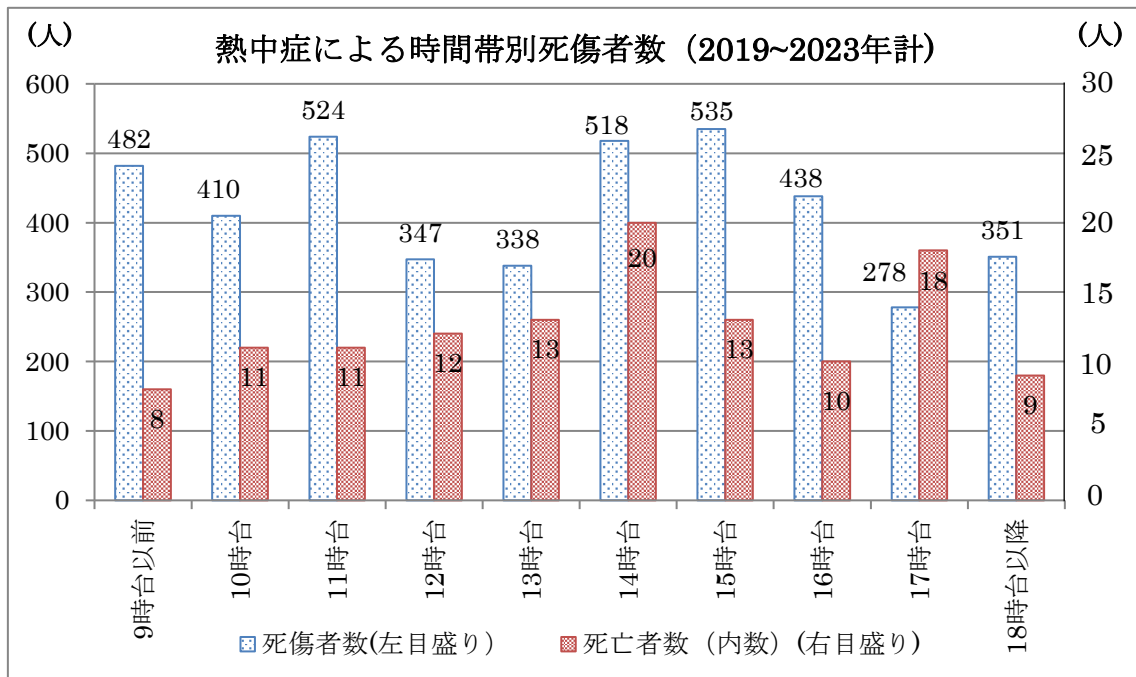
熱中症による死傷者数の時間帯別の状況 (2019~2023年) (人)

	9時台以前	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台以降	計
2019年	92 (1)	69 (3)	93 (2)	56 (1)	75 (4)	109 (6)	114 (3)	94 (0)	55 (3)	72 (2)	829 (25)
2020年	104 (2)	102 (3)	119 (0)	86 (3)	73 (4)	116 (3)	124 (2)	92 (4)	61 (0)	82 (1)	959 (22)
2021年	48 (0)	56 (1)	74 (3)	53 (4)	47 (3)	63 (3)	73 (0)	61 (3)	38 (3)	48 (0)	561 (20)
2022年	100 (1)	78 (3)	87 (1)	53 (3)	74 (2)	115 (3)	106 (6)	92 (2)	55 (5)	67 (4)	827 (30)
2023年	138 (4)	105 (1)	151 (5)	99 (1)	69 (0)	115 (5)	118 (2)	99 (1)	69 (7)	82 (2)	1,045 (28)
計	482 (8)	410 (11)	524 (11)	347 (12)	338 (13)	518 (20)	535 (13)	438 (10)	278 (18)	351 (9)	4,221 (125)

※ 2023年の件数は2024年1月11日時点の速報値である。

※ 9時台以前は0時台から9時台まで、18時台以降は18時台から23時台までを指す。

※ ( ) 内の数値は死亡者数で内数である。





#### 4 年齢別発生状況（2019～2023年）

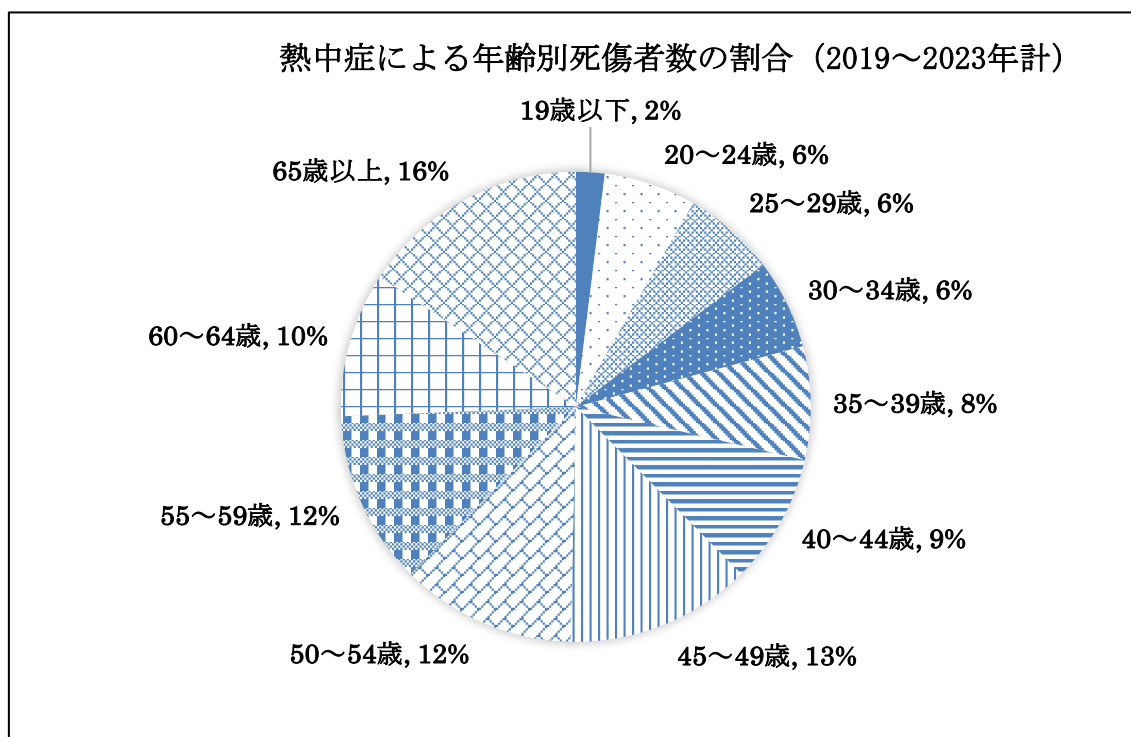
2019年以降の年齢別の熱中症の死傷者数をみると、全体の約5割が50歳以上となっていた。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（2018～2022年） (人)

	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上	計
2019年	18 (0)	57 (0)	53 (1)	55 (2)	58 (0)	79 (3)	117 (9)	98 (3)	111 (3)	69 (1)	114 (3)	829 (25)
2020年	24 (0)	54 (0)	51 (0)	56 (1)	82 (2)	87 (5)	134 (2)	123 (4)	105 (2)	93 (3)	150 (3)	959 (22)
2021年	12 (1)	46 (0)	25 (0)	41 (0)	36 (2)	53 (2)	69 (3)	65 (3)	70 (4)	58 (1)	86 (4)	561 (20)
2022年	10 (0)	39 (2)	72 (1)	62 (3)	69 (1)	72 (1)	103 (5)	93 (3)	94 (4)	87 (3)	126 (7)	827 (30)
2023年	19 (0)	72 (2)	69 (2)	46 (0)	84 (1)	86 (5)	116 (1)	130 (3)	124 (4)	113 (4)	186 (6)	1,045 (28)
計	83 (1)	268 (4)	270 (4)	260 (6)	329 (6)	377 (16)	539 (20)	509 (16)	504 (17)	420 (12)	662 (23)	4,221 (125)

※ 2023年の件数は2024年1月11日時点の速報値である。

※ ( ) 内の数値は死亡者数で内数である。



## 5 2023年の熱中症による死亡災害の事例

### 【死亡災害全体の概要】

- ・総数は28件で、被災者はすべて男性であった。
- ・発症時・緊急時の措置の確認・周知していたことを確認できなかった事例が25件あった。
- ・暑さ指数（WBGT）の把握を確認できなかった事例が24件あった。
- ・熱中症予防のための労働衛生教育の実施を確認できなかった事例が18件あった。
- ・糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している事が明らかな事例は10件あった。

### 【事案の詳細】

番号	月	業種	年代	気温 (注2)	暑さ指数 (WBGT) (注3)	事案の概要
1	6	警備業	80歳代	27.0℃	26.3℃	被災者は屋外の工事現場で警備業務に従事していた。途中で20分の休憩を取り、現場に戻った際にふらついて後方に倒れた。意識があり、日陰で1時間休憩後、タクシーで病院へ行き、その後病院で死亡した。
2	7	農業	60歳代	28.8℃	26.1℃	被災者は単独で8時20分過ぎから水田の草刈り業務に従事していた。通行人が0時26分頃に仰向けになって倒れている被災者を発見し、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。
3	7	小売業	50歳代	30.7℃	不明	被災者は単独で店舗の奥にある作業場で翌日の仕込み作業を行っていた。15時20分頃被災者から取締役へ電話があり、取締役が店舗に行くと仰向けで倒れている被災者を発見し、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
4	7	道路等のほ装事業	20歳代	32.0℃	28～31℃	被災者は8時15分頃から道路のアスファルト舗装の補助作業に従事していた。14時頃被災者は作業に必要な用具を持ち上げようとした際に転倒し、10分程度脇や首を冷やした後、病院へ連れて行ったが、搬送先の病院で死亡した。

5	7	その他の建築業	60歳代	27.1℃	29℃	被災者は9時から道路の草刈り及び集草業務に従事していた。10時から30分休憩取得後に被災者がいないことに気づき、休憩場所から10mほど離れた道路で仰向けになって倒れている被災者を発見し、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。
6	7	警備業	70歳代	32.0℃	不明	被災者は4時過ぎからボイラー室内においてボイラー運転業務を行っていた。8時頃に机に伏せる状態で発見され、その後病院に救急搬送されたが、脱水症状があり、搬送先の病院で死亡した。
7	7	電気設備工事業	60歳代	30.4℃	26.7℃	被災者は10時から同僚と2人で個人宅へ家電の配送、設置を行っていた。7件の配送業務を終え、16時45分に店舗に戻った際に胸の痛みを訴えたため、同僚が病院へ連れて行ったところ、その後病院で死亡した。
8	7	農業	20歳代	33.1℃	31.0℃	被災者は農地において草刈り業務に従事していた。離れて作業していた同僚が被災者の作業場所に行くと倒れている被災者を発見し、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
9	7	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事	50歳代	30.3℃	30.3℃	被災者は8時15分頃からの型枠取り付け業務に従事していた。適宜休憩を取りながら作業していたが14時50分頃事業主から体調不良を指摘され休憩に向かったが、15時頃に同僚が倒れている被災者を発見し、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
10	7	新聞小売業	50歳代	36.8℃	31.7℃	被災者はオートバイで夕刊の配達を行っていた。配達先の敷地内で倒れているところを発見され、救急搬送されたが、その後搬送先の病院で熱中症のため死亡した。
11	7	卸売業	40歳代	30.9℃	31.3℃	被災者は8時20分頃から近隣の工場から出る金属くず回収業務に従事していた。2回目の回収を行ったあとに10時頃に休憩に向かったが、戻って来なかったため同僚が探しに行くとうつ伏せの状態で見つかり、救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。

12	7	コンクリート製品製造業	60歳代	33.9℃	30.7℃	被災者は7時からフォークリフトを用いてコンクリート製品の運搬業務に従事していた。15時の休憩後に作業を再開していたが、フォークリフトが長時間止まっていることに不審に思い、様子を見に来た同僚が倒れている被災者を発見し、救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
13	7	土地整理土木工事業	50歳代	29.9℃	30.8℃	被災者は午前8時から正午過ぎまで建設現場の水路敷設作業補助業務に従事した。午後からは16時まで自由に待機し、帰宅した。被災者は作業中に体調不良を申し出なかったが、19時25分頃に同居する同僚が被災者の様子がおかしいことに気づき、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
14	7	土地整理土木工事業	50歳代	31.6℃	27.4℃	被災者は8時30分から17時頃まで適宜休憩をとりながら住宅造成工事現場にて外周擁壁に係る型枠組み立て作業に従事していた。17時15分頃作業終了後の片付け中に被災者が急にふらつき、地面に横たわったため水分補給させていたが、17時47分頃被災者からの応答がなくなり、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
15	7	農業	70歳代	32.8℃	不明	被災者は8時から代表とスポーツ施設敷地内で剪定等の植栽管理作業に従事していた。10時の休憩後の代表が別現場へ行き、単独で作業を続け、代表が11時40分頃に戻ったところ被災者が地面に倒れていたため、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
16	7	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	40歳代	36.5℃	29.5℃	被災者は8時からマンション建替工事現場にて雑作業に従事していた。被災者は14時40分頃に作業が終わり、休憩場所に向かったが、14時46分頃休憩場所の階段付近で倒れているところを発見され、水分補給や身体冷却を実施しても症状が改善されなかったため、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。



17	7	警備業	50歳代	31.7℃	不明	被災者は8時から17時まで道路改良工事現場で警備業務に従事していた。被災者が17時頃に待機していたところ、突然地面に倒れ込んだため、水分補給していたところ、17時11分頃に意識を失ったため、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
18	8	繊維製品製造業	30歳代	33.8℃	30.6℃	被災者は8時から17時まで自動車吸音材製造工場内にて製造業務に従事していた。被災者は作業中に体調不良を訴えていなかったが、17時過ぎに自転車で帰宅していたところ、事業場より約500メートル先の農道で倒れ、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
19	8	ト鉄骨・鉄筋コンクリー 造家屋建築工事業	50歳代	31.2℃	27.8℃	被災者は8時30分から17時まで新築ビルの内装作業に伴う養生の準備及び撤去作業に従事していた。17時30分頃にゴミを撤去したところ歩道上で倒れ、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
20	8	上下水道工事業	60歳代	31.1℃	不明	被災者は9時30分から水道管敷設のために重機で掘削作業に従事していた。14時30分頃体調不良で休憩をとったが、業務を再開し休憩を取りながら業務を続けていた。17時50分頃片付け中に被災者が立ち上がろうとしたときに、仰向けに倒れ、緊急搬送されたが、後日搬送先の病院で死亡した。
21	8	工作物の解体事業	40歳代	34.6℃	32.6℃	被災者は8時から建屋の内部を手作業で解体していた。作業開始後すぐに被災者は体調不良を訴え、14時頃まで作業と休憩を繰り返す状況が続き、その後は車で休んでいた。同僚が作業を中止し片付けを行っているとき、15時20分頃に被災者が倒れ、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
22	8	ゴルフ場の事業	60歳代	34.9℃	32.9℃	被災者は8時頃からほうきで事業場内を掃除し、9時頃から木材の運搬作業に従事していた。11時頃に被災者が運搬予定の木材の上に倒れ込んだため、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。

23	8	土木建築工事業	20歳代	36.0℃	31.1℃	被災者は8時頃から16時まで水路の除草作業に従事していた。除草用具の片付け作業をしていると、被災者の姿が見当たらず、16時30分頃にうつ伏せの状態であっていたのが見つかり、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
24	8	一般貨物自動車運送業	40歳代	31.5℃	29.3℃	被災者は8時頃から倉庫で荷のピッキング作業に従事していた。適宜休憩を取りながら作業を続けていたが、11時50分頃に被災者が倉庫内で倒れている状態で発見され、保冷剤で首等を身体冷却したあとに緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
25	8	機械器具製造業	40歳代	28.4℃	不明	被災者は出張先へ9時に訪問すべく、8時35分にホテルを出て徒歩で出張先へ向かった。9時30分頃道路上で被災者が意識混濁の状態であっているところを通行人が発見し、緊急搬送されたが、その後搬送先の病院で死亡した。
26	8	ガラス製品製造業	20歳代	29.0℃	27.2℃	被災者は8時50分頃から板ガラスの切断作業に従事していた。18時30分頃まで適宜休憩を取りながら同業務に従事していたが、上司が被災者の様子がおかしいことに気づき、帰宅を指示した。19時頃に帰社し、19時10分頃被災者が倒れているところを通行人が発見し、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
27	9	警備業	60歳代	31.8℃	29.3℃	被災者は8時30分から道路拡幅工事現場で交通誘導業務に従事していた。適宜休憩をとりながら作業し、11時に休憩場所へ向かったが、11時35分頃休憩所近くであっている姿を発見され、緊急搬送されたが、その後搬送先の病院で死亡した。
28	9	農業	40歳代	27.7℃	29.3℃	被災者は単独で農業用配管の敷設作業を行っていた。8時50分頃に代表が作業の進捗確認のために事業場を訪れると被災者が横向きに倒れており、緊急搬送要請したが、その場で死亡が確認された。

(注1) 2024年1月11日時点の速報であり、今後、内容が修正されることがあり得る。

(注2) 現場での気温が不明な事例には、気象庁ホームページで公表されている現場近隣

の観測所における気温を参考値として示した。

(注3) 現場での暑さ指数 (WBGT) が不明な事例には、調査時に環境省熱中症予防情報サイトで公表されている現場近隣の観測所における暑さ指数 (WBGT) を参考値として示した。

# STOP！熱中症

## クールワークキャンペーン

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約800人が4日以上仕事を休んでいます。



労働災害防止キャラクター

チューイカン吉



キャンペーン  
実施要項

準備

キャンペーン期間

4月

5月

6月

7月

8月

9月

重点取組

### 準備期間（4月）にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、チェックしましょう

労働衛生管理体制の確立	事業場ごとに熱中症予防管理者を選任し熱中症予防の責任体制を確立
暑さ指数の把握の準備	JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検
作業計画の策定	暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業計画を策定
設備対策の検討	暑さ指数低減のため簡易な屋根、通風または冷房設備、散水設備の設置を検討
休憩場所の確保の検討	冷房を備えた休憩場所や涼しい休憩場所の確保を検討
服装の検討	透湿性と通気性の良い服装を準備、送風や送水により身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討
緊急時の対応の事前確認	緊急時の対応を確認し、労働者に周知
教育研修の実施	管理者、労働者に対する教育を実施

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

# キャンペーン期間（5月～9月）にすべきこと

STEP  
1

## 暑さ指数の把握と評価

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握  
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効



環境省  
熱中症予防情報  
サイト

STEP  
2

## 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施
休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置
服装	準備期間に検討した服装を着用
作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止
暑熱順化への対応	熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整 新規入職者や休み明け労働者は別途調整することに注意
水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的に摂取（水分等を携行させる等を考慮）
プレクーリング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減
健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮 糖尿病、 高血圧症、 心疾患、 腎不全、 精神・神経 関係の疾患、 広範囲の皮膚疾患、 感冒、 下痢
日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症 の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認
作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等労働 者にお互いの健康状態を留意するよう指導
異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、 病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置 <b>全身を濡らして送風することなどにより体温を低減</b> 一人きりにしない

## 重点取組期間（7月）にすべきこと

暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加

暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底

水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底

作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加

熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施

**体調不良の者に異常を認めたときは、躊躇することなく救急隊を要請**

## 転倒等リスク評価セルフチェック票

### I 身体機能計測結果

#### ① 2ステップテスト (歩行能力・筋力)

あなたの結果は  cm /  cm (身長) =

下の評価表に当てはめると →  評価

評価表	1	2	3	4	5
結果/ 身長	~1.24	1.25 ~1.38	1.39 ~1.46	1.47 ~1.65	1.66~



#### ② 座位ステッピングテスト (敏捷性)

あなたの結果は  回 / 20秒

下の評価表に当てはめると →  評価

評価表	1	2	3	4	5
(回)	~24	25 ~28	29 ~43	44 ~47	48~



#### ③ ファンクショナルリーチ (動的バランス)

あなたの結果は  cm

下の評価表に当てはめると →  評価

評価表	1	2	3	4	5
(cm)	~19	20 ~29	30 ~35	36 ~39	40~



#### ④ 閉眼片足立ち (静的バランス)

あなたの結果は  秒

下の評価表に当てはめると →  評価

評価表	1	2	3	4	5
(秒)	~7	7.1 ~17	17.1 ~55	55.1 ~90	90.1~

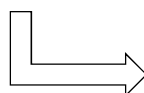


#### ⑤ 開眼片足立ち (静的バランス)

あなたの結果は  秒

下の評価表に当てはめると →  評価

評価表	1	2	3	4	5
(秒)	~15	15.1 ~30	30.1 ~84	84.1 ~120	120.1 ~



身体機能計測の評価数字を  
Ⅲのレーダーチャートに黒字で記入



## II 質問票（身体的特性）

質問内容	あなたの回答NOは	合算	評価	評価
1. 人ごみの中、正面から来る人にぶつからず、よけて歩けますか		点	下記の評価表であなたの評価は	① 歩行能力 筋力
2. 同年代に比べて体力に自信はありますか				
3. 突発的な事態に対する体の反応は素早い方 と思いますか		点	下記の評価表であなたの評価は	② 敏捷性
4. 歩行中、小さい段差に足を引っかけたとき、すぐに次の足が出るとおもいますか				
5. 片足で立ったまま靴下を履くことができると 思いますか		点	下記の評価表であなたの評価は	③ 動的バラン ス
6. 一直線に引いたラインの上を、継ぎ足歩行で 簡単に歩くことができるとおもいますか				
7. 眼を閉じて片足でどのくらい立つ自信が ありますか				④ 静的バラン ス（閉眼）
8. 電車に乗って、つり革につかまらずどの くらい立っていられますか		点	下記の評価表であなたの評価は	⑤ 静的バラン ス（開眼）
9. 眼を開けて片足でどのくらい立つ自信が ありますか				

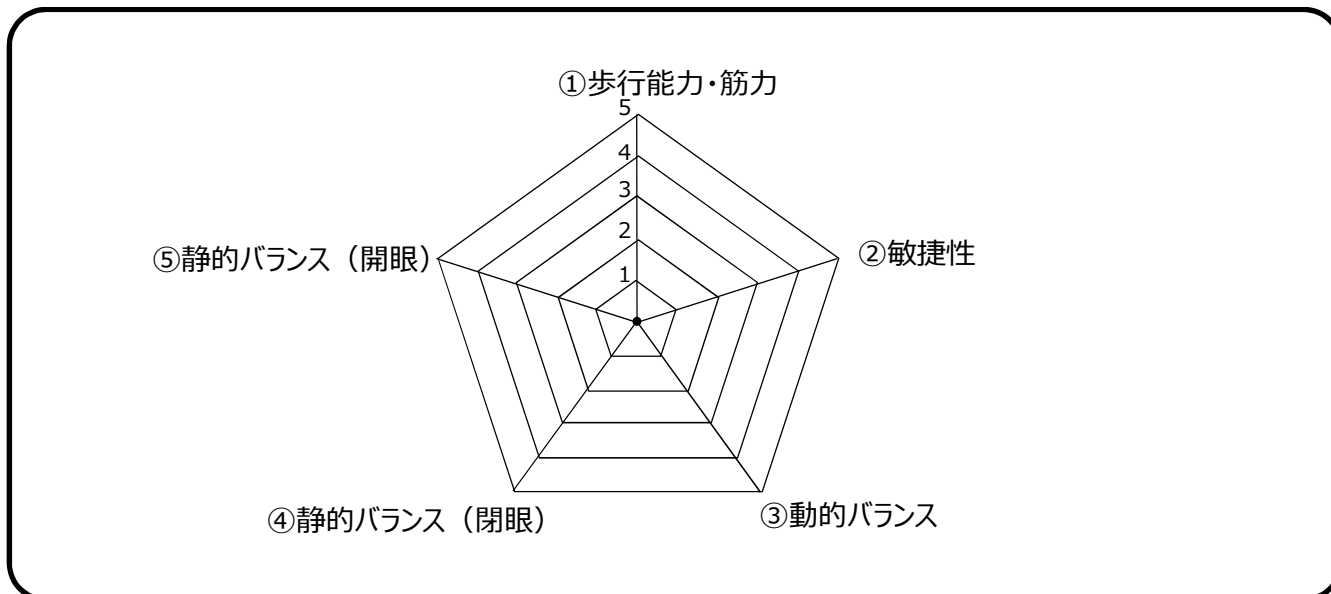
それぞれの評価結果をⅢの  
リーダーチャートに赤字で記入

合計点数	評価表
2～3	1
4～5	2
6～7	3
8～9	4
10	5

質問内容	回答No.
1. 人ごみの中、正面から来る人にぶつからず、よけて歩けますか	① 自信がない ② あまり自信がない ③ 人並み程度 ④ 少し自信がある ⑤ 自信がある
2. 同年代に比べて体力に自信はありますか	① 自信がない ② あまり自信がない ③ 人並み程度 ④ やや自信がある ⑤ 自信がある
3. 突発的な事態に対する体の反応は素早い方 と思いますか	① 素早くないと思う ② あまり素早くない方と思う ③ 普通 ④ やや素早い方と思う ⑤ 素早い方と思う
4. 歩行中、小さい段差に足を引っ掛けたとき、 すぐに次の足が出るとおもいますか	① 自信がない ② あまり自信がない ③ 少し自信がある ④ かなり自信がある ⑤ とても自信がある
5. 片足で立ったまま靴下を履くことができると 思いますか	① できないと思う ② 最近やってないができないと思う ③ 最近やってないが何 回かに1回はできると思う ④ 最近やってないができると思う ⑤ できると思う
6. 一直線に引いたラインの上を、継ぎ足歩行 （後ろ足のかかとを前脚のつま先に付けるように 歩く）で簡単に歩くことができるとおもいますか	① 継ぎ足歩行ができない ② 継ぎ足歩行はできるがラインからずれる ③ ゆっくりであればできる ④ 普通にできる ⑤ 簡単にできる
7. 眼を閉じて片足でどのくらい立つ自信が ありますか	① 10秒以内 ② 20秒程度 ③ 40秒程度 ④ 1分程度 ⑤ それ以上
8. 電車に乗って、つり革につかまらずどの くらい立っていられますか	① 10秒以内 ② 30秒程度 ③ 1分程度 ④ 2分程度 ⑤ 3分以上
9. 眼を開けて片足でどのくらい立つ自信が ありますか	① 15秒以内 ② 30秒程度 ③ 1分程度 ④ 1分30秒程度 ⑤ 2分以上

### Ⅲ レーダーチャート

- 1、2 ページの評価結果を転記し線で結びます  
(Ⅰの身体機能計測結果を黒字、Ⅱの質問票(身体的特性)は赤字で記入)



#### チェック項目

##### 1 身体機能計測(黒枠)の大きさをチェック

身体機能計測結果を示しています。黒枠の大きさが大きい方が、転倒などの災害リスクが低いといえます。黒枠が小さい、特に2以下の数値がある場合は、その項目での転倒などのリスクが高く注意が必要といえます。

##### 2 身体機能に対する意識(赤枠)の大きさをチェック

身体機能に対する自己認識を示しています。実際の身体機能(黒枠)と意識(赤枠)が近いほど、自らの身体能力を的確に把握しているといえます。

##### 3 黒枠と赤枠の大きさをチェック

###### (1)「黒枠 ≥ 赤枠」の場合

それぞれの枠の大きさを比較し、黒枠が大きいもしくは同じ大きさの場合は、身体機能レベルを自分で把握しており、とっさの行動を起こした際に、身体が思いどおりに反応すると考えられます。

###### (2)「黒枠 < 赤枠」の場合

それぞれの枠の大きさを比較し、赤枠が大きい場合は、身体機能が自分で考えている以上に衰えている状態です。とっさの行動を起こした際など、身体が思いどおりに反応しない場合があります。枠の大きさの差が大きいほど、実際の身体機能と意識の差が大きいことになり、より注意が必要といえます。

詳細はホームページ参照 <https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/101006-1.html>

転倒等は筋力、バランス能力、敏捷性の低下等により起きやすくなると考えられます。この調査は転倒や転落等の災害リスクに重点を置き、それらに関連する身体機能及び身体機能に対する認識等から自らの転倒等の災害リスクを認識し、労働災害の防止に役立てるものです。

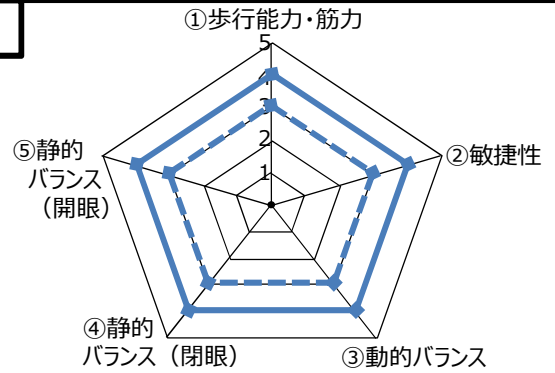
## レーダーチャートの典型的なパターン

### パターン1 身体機能計測結果 > 質問票回答結果

あなたの身体機能（太線）は、自己認識（点線）よりも高い状態にあります。このことから、比較的自分の体力について慎重に評価する傾向にあるといえます。生活習慣や加齢により急激に能力が下がる項目もありますので、今後も過信することなく、体力の維持向上に努めましょう。

一方、太線が点線より大きくても全体的に枠が小さい場合（特に2以下）は、すでに身体機能面で転倒等のリスクが高いといえます。筋力やバランス能力の向上、整理整頓や転倒・転落しやすい箇所の削減に努めてください。

また、職場の整理整頓がなされていない場合などには転倒等リスクが高まる場合がありますので注意しましょう。

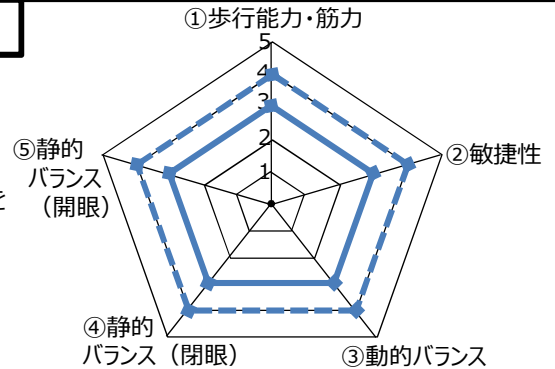


### パターン2 身体機能計測結果 < 質問票回答結果

あなたの身体機能（太線）は、自己認識（点線）よりも低い状態にあります。このことから、実際よりも自分の体力を高く評価している傾向にあり、自分で考えている以上にからだに反応していない場合があります。

体力の維持向上を図り、自己認識まで体力を向上させる一方、体力等の衰えによる転倒等のリスクがあることを認識してください。日頃から、急な動作を避け、足元や周辺の安全を確認しながら行動するようにしましょう。

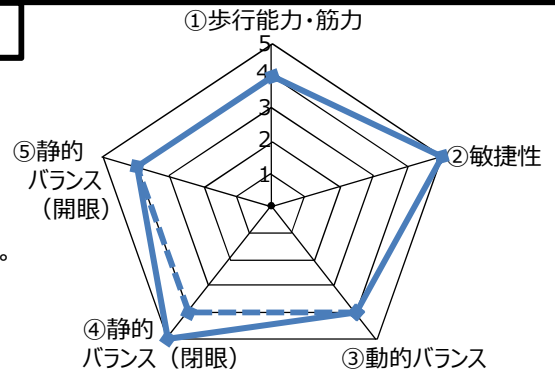
また、枠の大きさが異なるほど、身体機能と自己認識の差が大きいことを示しており、さらに、太線が小さい場合（特に2以下）はすでに身体機能面で転倒等のリスクが高いことが考えられます。筋力やバランス能力等の向上に努めてください。



### パターン3 身体機能計測結果 ≒ 質問票回答結果（枠が大きい）

あなたの身体機能（太線）とそれに対する自己認識（点線）は同じくらいで、どちらも高い傾向にあります。このことから、転倒等リスクから見た身体機能は現時点で問題はなく、同様に自分でもそれを認識しているといえます。

現在は良い状態にありますが、加齢や生活習慣の変化により身体能力が急激に低下し、転倒等リスクが高まる場合もありますので、日頃から、転倒等に対するリスクを認識するとともに、引き続き体力の維持向上に努めてください。

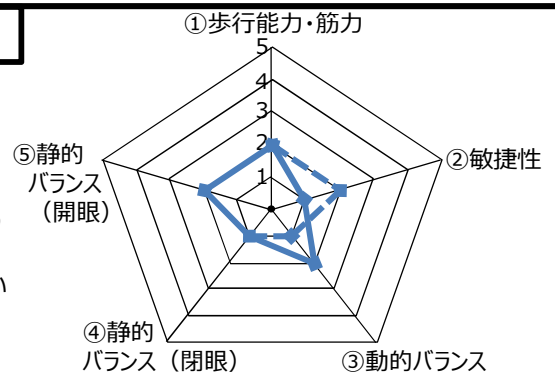


### パターン4 身体機能計測結果 ≒ 質問票回答結果（枠が小さい）

あなたの身体機能（太線）とそれに対する自己認識（点線）は同じくらいで、身体機能と認識の差は小さいですが、身体機能・認識とも低い傾向にあります（主に2以下）。

このことから、転倒等リスクからみて身体機能に不安を持っており、そのことを自分でも認識しているといえます。日頃から、体力の向上等により身体面での転倒等のリスクを減らし、全体的に枠が大きくなるように努めてください。

また、すぐに転倒リスクを減らすため、職場の整理整頓や転倒・転落しやすい箇所の改善等を行ってください。



### パターン5 項目により逆転している

あなたは、計測項目によって、身体機能（太線）の方が高い場合と自己認識（点線）の方が高い場合が混在しています。

このことから、それぞれの体力要素について、実際より高く自己評価している場合と慎重に評価している場合があるといえます。

転倒等リスクからみた場合、特に自己認識に比べ、身体機能が低い項目（太線が小さい項目）が問題となります。身体機能の向上により太線の方が大きくなるよう努めてください。

また、身体機能と認識にばらつきがあるため、思わぬところで転倒や転落する可能性がありますので、転倒・転落しやすい箇所の改善等を行ってください。

